

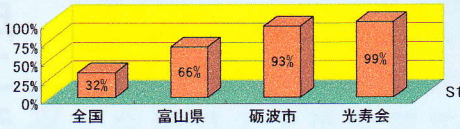
光寿

6月号
2009

新緑のいかるぎ館

発行 頼成光寿会

老人クラブ加入率



低迷する老人クラブ活動

全国的に見て老人クラブ加入率が年々低下しています。その背景には定年後も勤めたり、後継者がいないまま家業を続けたりする人も多く、「かつての悠々自適さはない」という厳しい社会情勢や、趣味の集いには参加しても、奉仕活動には興味を示さない人が増えてきたという個人主義の浸透があります。

しかし、急速に高齢化が進む中、寝たきりにならないための健康づくりや地区内での奉仕活動への参加など、老人クラブの存在意義ますます高まってきています。

老人クラブ活動の重要性に鑑み県でも老人クラブ連合会活動費補助九百四十万円、活動支援事業補助七百六十万円、高齢者相互支援事業費補助百万円など合計で千八百万円余りの予算を付けてその活動を促しています。

光寿会の

加入率日本一？

厚労省の統計によれば、全国の六十五歳以上の人口は約二千四百万人、そのうち老人クラブに加入している者は約七百八十万、加入率は約三十割ですが、この率は年々低下しているとのことです。富山県では二十七万六千人のうち十八万三千人が加入していて、その加入率六十六割は全国都



季節のうた 夏つばめ田は夕影を宿しつつ

「ご家族のご了解を得て、故人の句集「柿の花」から、季節にふさわしい秀句を載せさせていただきました。ありがとうございます。」

道府県中第一位ですが、この率もこのところ低下傾向にあります。砺波市では一万一千八百人のうち一万一千人が加入していて加入率は県内第一位の九十二割と高い水準にあります。その中でも当光寿会はほぼ一〇〇割の加入率で、加入率だけで見れば日本一と言っても良いのではないのでしょうか。

わが光寿会は昭和三十八年市内でももっとも早い時期に設立された伝統ある会で、四年後の平成二十三年には五十周年を迎えることとなります。

今後は加入適齢期を迎える団塊の世代にいかに関心を持ってもらえるかなどの課題に取り組むながら、五十年の節目に向けて光寿会活動をいつそう盛り上げていきたいものです。

新緑の五箇山へ

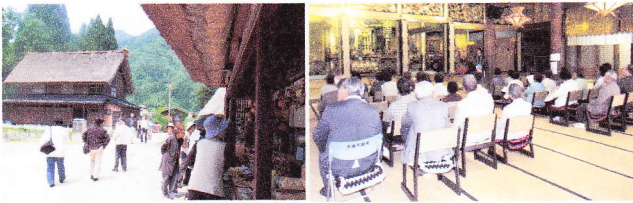
楽しく恒例の日帰り旅行

光寿会恒例の日帰り旅行が、新緑の映える五月二十七日行われました。三十七名の

会員が参加してまずは城端善徳寺（城端別院）へ、

日頃は見ることも出来ない所を拝観したあと五箇山へ、世界遺産相倉合掌集落を見てくれば温泉にて昼食・入浴、ゆつくり

休んだ後流刑小屋や和紙の里に立ち寄り午後五時無事帰宅しました。



頼成二チーム出場権獲得

市体ペタンク般若地区予選



五月十一日午後、般若ペタンク協会の市民体育大会般若地区予選が快晴の庄東小学校グラウンドにおいて行われました。予選会には男子八チーム女子四チームが参加、男女各二チームの市大会出場権をかけて熱戦が展開されました。その結果、光寿会会員で編成した男女各一チームが勝ち上がり出場権を得ました。男子ではほかに徳万から女子では三合から各一チームが出場します。

頼成男子チーム
島 道成・八田 政夫・林 博
頼成女子チーム
林 久子・坂東 泰子・高畠 夏子

市大会は六月二十七日、中村グラウンドで行われます。健闘を期待したいものです。

知ってますか?

砺波市の高齢者介護 予防サービスいろいろ

砺波市では高齢者の介護予防のため、いろいろなサービスを提供しています。たとえば

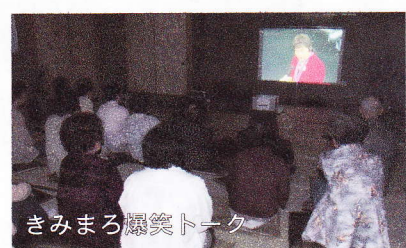
● 高齢者入浴施設等利用券配布

市内福祉センター、やまぶき荘、公衆浴場の入浴や温水プール利用が出来ます。対象者は四月一日現在で七十五歳以上の高齢者（特養、養護老人ホーム入所者は除く）で、年間一人十回分が給付されます。

● 配食サービス

在宅の一人暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯並びに身体障害者世帯に対して、定期的にパランスのとれた食事を提供し、あわせて安否の

確認も行います。週一回一食、一食に付き二百円の実費負担があります。そのほかにも、●おむつ支給事業●寝具クリ



きみまろ爆笑トーク

午前は大画面ビデオシリーズとして「綾小路きみまろ 爆笑トーク第二弾」を視聴、相変わらずの毒舌に大笑いのひとときを過ごしました。

らんじょ浮世亭だより

昨日の林とし子（豊屋さん）の葬儀の際、会長の事務が葬儀次第から漏れるという式場側のミスがあったことが話題になり、会長からその間のいきさつなどについての話がありました。

午後阿弥陀経書写第五回目として、まず仏説阿弥陀経を模範テープにあわせて読誦したあと、釈尊が西方十万億土にあるという、いわゆる極楽の様子を説明した後段の部分の約百字ほどを書写しました。晴れ上がった好天で、多くの方が参加されました。ペタンクの練習にも多数の会員が参加され賑やかに競技を楽しんでおられました。



阿弥陀経書写

次回は6月17日(水曜日)です。大画面ビデオにて短編ドラマ「老いを生きる」(庄司歌江・小林綾子ら出演)の上映を

予定しています(10時ころより) 豆腐田楽を作って賞味する予定もあります。気軽にご来亭ください。

会員の慶弔

弔事
五月十七日 林 とし子 様
享年 数え年八十五歳
五月十九日 林 つよ 様
享年 数え年九十五歳
心よりご冥福を
お祈り申し上げます

6月行事予定

★	1日	定例役員会
★	14日	尼講
★	17日	らんじょ浮世亭
★	20日	地域めぐり

ーニングサービス事業●福祉電話設置事業●生きがい活動通所サービス事業●高齢者が住みよい住宅改善支援事業●介護用品支給事業●在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業など、いろいろのサービスがあります。サービスについては、電話(三三一-一一一)、市役所の社会福祉課・高齢介護課に問い合わせ、適切に利用しましょう。

いかるぎ 鯛木

朝三暮四(ちようさんぼし) 目先の利益で人をたぶらかすこと
昔、中国の宋の国に狙公という人がいました。猿を可愛がって群れをなすほど養っていました。自分の家族の食べ物を減らしてまで、猿の食欲を充たしていました。

で、猿に与える餌のどんぐりを八個から七個に減らすことにしました。お前たちにどんぐりをやるのに、朝は三つで暮は四つにする。足りるか。すると猿たちは皆立ち上がって怒りだしました。そこで狙公は言い変えて、「それじゃ、朝は四つで暮は三つにしよう。足りるか」と言いました。猿たちは喜んで納得しました。目先の利益で人をたぶらかすことを戒めた中国の故事です。